

宇宙での実験について話す毛利さん



# 近隣や南京からお客さま 大学で交流の輪広がる

この秋、大学のキャンパスでは様々なイベントが行われ、大勢の人が訪れました。近隣の小中学生や他大学の仲間たち、全国の研究者、そして遠く中国からのお客さま。交流の輪を広げたイベントの数々をご紹介します(④面に関連写真の特集)。

大学祭・オープンキャンパス・応用物理学会・東南大学学生会



愛知工業大学  
愛知工業大学情報電子専門学校  
愛知工業大学名電高校  
愛知工業大学附属中学校

### 目次:

写真特集	4・5
大学祭	4
新校舎	5
入試日程	6・7
野外活動	8

発行所  
名古屋電気学園  
〒464-8540  
名古屋市千種区若水3-2-12  
TEL (052) 721-0201

## 大学祭 ゲームや模擬店楽しむ



「アイティ革命」をテーマにした第99回愛工大祭が十月二十、二十一日、講堂

## 応物学会 毛利衛さんが特別講演

二〇〇一年秋季・第99回応用物理学会学術講演会が九月十一日から四日間、本学構内で開かれました。

講堂兼体育館・鉦徳館や愛和会館、一般教室など大学のほぼ全施設を会場に、四日間で三千四百五件の研究発表とシンポジウムが行われました。参加した延べ二万人余の研究者、学生たちは最新情報を収集し、交

流を深めました。

初日は愛和会館で宇宙飛行士・毛利衛さんらの特別講演があり、毛利さんは宇宙での実験や不思議な現象についてビデオを交えて分かりやすく話しました。

今回、本学が施設の無償使用という形で学術講演会を協賛。史上初めての英断に対し、後藤淳学長に学会感謝状が贈られました。

兼体育館・鉦徳館をはじめセントラルパーク、愛和会館、A I Tプラザなどを会場にぎやかに開かれました。二十一日にはオープンキャンパスも開催され、高校生や小・中学生も大学の雰囲気を楽しみました。好天に恵まれた大学祭初日は、鉦徳館前のセントラルパークを中心に食べ物の模擬店やゲームコーナーなど多彩なイベントが展開されました。荷車をひいてクイズの出前をしたり、道路脇で小物や衣類の店を広げるなど、大学祭ならではの光景が広がりました。二日目の二十一日は、午

後からあいにくの雨模様でしたが、セントラルパークで各種イベントが開かれたほか、鉦徳館では人気グループ「Hysteric Blue」のコンサートもあり、大勢のファンを魅了しました。オープンキャンパスに三百人を超す参加者 大学祭と同時開催のオープンキャンパスには、三百三人が参加しました。まるごと体験ワールドには高校生だけでなく小中学生も訪れ、英会話を学んだりコンクリートで遊んだり、大学の授業感覚を楽しんでいました。なお、八月の参加者は千二百六十五人。

## たい焼きを食べたい ゲームに興じる 東南大の学生代表団

姉妹校・東南大(中国南京市)の学生団(譚東偉団長ら十人)が大学祭の二十日、本学を訪れてゲームや模擬店巡りをするなど、楽



しいひとときを過ごしました(②面に関連記事)。10号館をバックに記念撮影した後、二班に分かれてA I Tプラザなど大学内を見学。午後からはセントラルパークなどの大学祭会場で、クイズに答えてお土産をもらったり、たい焼きを食べたりと、大学祭を満喫していました。

京都観光などを楽しんだ後、二十三日夕には本学学生と交流会。法被をプレゼントされ、学生訪中団参加者と再会し大喜びでした。

# 保護者面談や講演会 岐阜などで愛工大懇談会開く



岐阜キャッスルホテルで開かれた岐阜懇談会

保護者面談と講演会をセットにした「愛知工業大学懇談会」が今年も九、十月に計六会場で開催されました。愛知県以外の、特に出身学生の多い地域を選んで開催しているもので、大学主催で、同窓会、後援会、愛名会が後援しています。大学が、保護者との意思疎通を促進するのが目的です。全体懇談会で大学側が現状を説明した後、担当教官が学生の成績や生活ぶりについて保護者と個別に懇談しました。また、一般の方にも広く参加していただき、オープンフォーラムも

各会場で開催しました(夕イトルは左表参照)。

地区	日時	会場	オープンフォーラム		参加者数 総
			講演者	タイトル(サブタイトルは省略)	
三重	9月8日	四日市都ホテル	建部謙治教授	人にやさしい住まい・都市	117
岐阜	9月15日	岐阜キャッスルホテル	森 豪教授	司馬遼太郎と宮崎駿	208
静岡	9月22日	グランドホテル浜松	石垣尚男教授	眼を鍛えていきいき生活	132
関西	9月29日	ホテルサンルート梅田	藤川壽男教授	現代住宅の造り方	44
北陸	10月6日	ホリディ・イン金沢	近藤高司教授	21世紀はインターネットの時代	84
中・四国	10月13日	岡山ロイヤルホテル	中川覃夫教授	ちよっぴり暮らしに役立つ統計のおはなし	61

## 学生の友好深め合う 大学代表団が東南大へ



愛知工業大学学生代表団(団長・佐藤由身子図書館長)の二十一人が九月十六日から七日間、姉妹校の東南

南大学を訪れ、友好親善を深め合いました。十七日夜の歓迎宴では、両大学の歴史や交流の経緯など左帷・東南大副学長を囲んで話がはずみ、日本から持参した記念品を贈るなど和やかな雰囲気でした。その後開かれた学生交流会では、趣向を凝らした出し物を披露し合い、予定時間が少なすぎると感じるほど楽しいひとときでした。翌十八日に訪問した礼堂

(本館講堂に当たる)玄関には、「熱烈歓迎」の横断幕が掲げられ、左副学長ら多くの人々に温かい拍手で迎えられました。続いて、日本語学科の学生との交流会が開かれました。(随員・中野正博記)

## 推薦入試の方法は？ 交通のアクセスは？

14会場で大学展開く愛知県私立大学協会主催の「中部の私立大学展」が五月から九月にかけて開かれ、本学は名古屋国際会議場Ⅱ写真Ⅱなど十四会場に出展し、高校生や保護者らに講義内容やキャンパスライフをPRしました。入場者総数は約二万三千人で、本学ブースへ相談に

訪れたのは約四百人。相談内容は推薦入試の方法、交通のアクセス、就職状況などが大半を占めました。

川合康夫氏(かわい・やすお) 大学教学部付参事・前大学野球部監督) 9月2日、肺炎のため死去されました。66歳。ご自宅は名古屋市中村区角割町1ノ12ノ3。告別式は9月4日、名古屋市中村区竹橋36ノ19の太閤通愛昇殿で営まれました。喪主は長男良明氏。

## 告知板

- ◇学園創立89周年記念式典 11月12日午後12時20分から、学園本部南側の愛名館で行われます。また、平成13年度学園物故者法要は同日午後2時から、名古屋市千種区法王町1の日泰寺本堂で。
- ◇学園物語の連載開始 中部経済新聞に10月1日から、「創造と人間性～名古屋電気学園90年のあゆみ～」の連載が始まりました。来年春まで、計150回掲載される予定です。
- ◇セクハラ防止で窓口開設 大学は健全で快適なキャンパス環境をつくるため、セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)被害者の相談窓口を総務課に設置しました。プライバシーは必ず守られますので、気楽にご相談ください。  
メール sexharass@office.aitech.ac.jp  
電話 0565-48-8121(内線1031)

## ◇おもな人事

### 【学園】

- 管理部参事として採用する 松原 暁美 (8月16日)
- 総務部長兼務を解く(事務局長兼総務部長) 兼子 勝 (8月31日)
- 総務部長とする(高校事務部事務長) 西井 松生 (9月1日)
- 総合企画室参事として採用する(出向) 柳田 充 (10月1日)

### 【高校】

- 事務部事務長とする(事務部瑞穂校舎事務長) 若杉 和彦 (9月1日)

# 「時差通学時間割」導入へ

## 大学 万博絡みの混雑解消

愛知万博の関連工事や開催時の入場者等による交通渋滞などを緩和しようと、大学は来年度から「時差通学時間割」Ⅱ表⑤Ⅱを導入することにしました。

万博関連の準備工事、本番の工事、そして開催期間中は入場者などにより、大学周辺はかなりの交通渋滞が予想されます。このため、学科別に三つのグループ

	A時間帯	B時間帯	C時間帯
1時限	9:00～10:25	9:00～10:25	9:25～10:50
2時限	10:55～12:20	11:05～12:30	11:05～12:30
3時限	13:00～14:25	13:00～14:25	13:10～14:35
4時限	14:40～16:05	14:55～16:20	14:55～16:20
5時限	16:30～17:55	16:30～17:55	16:30～17:55
6時限	18:05～19:30	18:05～19:30	18:05～19:30
7時限	19:40～21:05	19:40～21:05	19:40～21:05

**A時間帯**  
工学部電気工学、電子工学、情報通信工学、経営工学（在籍者は3・4年生）、経営情報科学部経営情報、マーケティング情報 の各学科

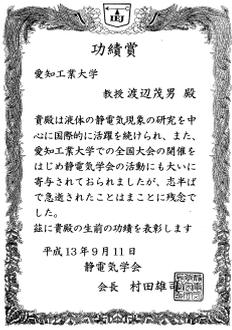
**C時間帯**  
工学部応用化学、機械工学、土木工学、建築学、建築工学の各学科

プをつくるとともに、これまでより五分短い八十五分授業を設定。学生は通常、学科に対応するAかCの時間帯で授業を受け、学科のまたがる共通授業についてはB時間帯で履修します。

とりあえず二〇〇六年三月まで実施し、交通渋滞の緩和やスムーズな食堂利用などメリットがあれば、期間延長を検討します。

### 故渡辺教授に功績賞

六月二十四日に死去した渡辺茂男氏（当時・工学部電気工学科長、教授）にこのほど、静電気学会（村田雄司会長）から功績賞が贈られました。受賞理由は「液体の静電気現象の研究を中心に国際的に活躍」と「静電気学会の活動に寄与」で、故人の受賞は初めてだそうです。



◇平成13年度教育・研究特別助成対象課題一覧（単位・千円）

区分	学部・学科	代表者	研究課題	助成金
研究	工・電気工学科	雪田 和人 講師	環境負荷低減型電力システムに関する研究	3,000
研究	工・応用化学科	稲垣 道夫 教授	21世紀を支えるための材料の開発	4,000
教育	工・機械工学科	岩永 弘之 教授	三次元CAD/CAM/CAE一貫教育の実習設備	15,000
研究	工・土木工学科	岩月 栄治 講師	コンクリート再生骨材のアルカリ骨材反応に関する実験的研究	1,800
研究	経・マーケティング情報学科	野村 重信 教授	マーケティング情報に関する調査研究	2,000

## たゆみない努力を応援

学生チャレンジプロジェクト  
平成13年度愛工大教育・研究特別助成  
教員・学生の12研究に3000万余

大学後援会が学生の夢を応援する「チャレンジプロジェクト」の助成対象に、下記の6件が認定されました。8グループから9件のプロジェクトが寄せられ、厳重な審査を経て選ばれました。

1件につき100万円を限度とし、プロジェクトが2年にわたる場合、その年の限度額内で助成されることになっています。

初回の助成金総額は、350万円でした。

同額配分していましたが、この助成方法では研究内容をほとんどチェック出来ないため、ことしから申請のあった研究について審査し、内容に合わせて重点配分することになりました。今回、大学後援会から200万円の寄付がありました。

代表者	学部・学年	研究題目	人数	指導教員	助成金
服部 剛史	電子工学科2年	相撲ロボット大会	8	加藤 厚生 教授	300,000
上野 智治	機械工学科3年	エコラン（省燃費競争）	10	渡辺 修 教授	1,000,000
加賀 隆徳	修士・建設システム工学2年	大滝の湯（体験交流施設コンペに参加）	5	藤川 壽男 教授	370,000
乗京 和生	土木工学科4年	本部棟南の池にコンクリートを浮かせ浮島を作ろう	7	四俵 正俊 教授	650,000
浅井 健史	情報通信工学科3年	ソーラー飛行船の開発	10	内田 悦行 教授	1,000,000
土井 理	修士・電気電子工学2年	相撲マイクロロボットの開発	7	鳥井 昭宏助教授	180,795

◇学生チャレンジプロジェクト（単位・円）



**オープンキャンパス** ①概要説明に聞き入る高校生ら②③ミニロケットの発射準備をする親子④⑤親子で「地震に強い家を作ろう」に取り組み⑥震度7の地震を体験する子どもたち(8月開催時の写真もあります)



**第41回愛工大祭**

④巨大なペンギンのふわふわも登場して愛嬌を振りまきました  
 ④Hysteric Blueの華やかなステージ。鉦徳館を埋めたファンを魅了しました【下段】④④自慢の腕を披露し合うコンテストステージ④④大学祭のメインイベント「工科展」で繰り広げられるロボット・バトル④④童心にかえってフラフープゲーム④④SF風の衣装でキャンパスをかつぶるキャンペーン隊



**応用物理学会** ①④懇親会で談笑する人たち②④感謝状を受ける後藤淳学長③④研究者で賑わう大学のメインストリート



**東南大学生団** ①④模擬店で、たい焼きを注文したり、販売スタッフと談笑する学生団の人たち④④水鉄砲の射的に興じる団員ら。的になかなか命中せず、つい力が入ったようです④④学生団から本学に贈られた壺④④アーチェリーにも挑戦



# 高校新校舎

## 自慢の施設

上からコンピュータ室・情報デザイン室・メディアライブラリー

## 完成披露式

上げる中村前監督・取材に詰めかけたカメラマン・ランチルームでのパーティー



④ 42インチプラズマディスプレイのデモ授業  
⑤ スクリーンもある劇場感覚のサテライト教室



## 気分爽快

⑥ 学校見学会で日ごろの練習ぶりを披露する吹奏楽部員

⑦ 西館の屋上庭園で眺望を楽しむ生徒ら



入試日程

高校、附属中学の入試日程が決まりました。大学、専門学校については前号で紹介したものを再録、四設置校をまとめて「入試日程特集」としました。

高 校

目玉は、なんとといっても「新校舎」の完成です。⑤面の特集でもお分かりいただけると思いますが、素晴らしい施設が揃い、勉強の

中 学

高校と同様、「ウリ」は男女共学になることです。また入試方法の目玉は、奨

環境は抜群です。もう一つ、普通科に続いて専門学科も男女共学になります。このほか、情報科学科(情報システム・情報デザイン)の両コース(申請中)が専門学科に加わり、授業内容が充実します。

科/コース			募集定員	
			推薦入試	一般入試
普通科	特別コース	特別進学コース	70%以内	男・女 約408人
		スポーツコース		
	普通コース	理工コース		
		文理選択コース		
専門学科	電気科 電子科 機械科 ※2年生から コースに 分かれます	電気工学コース	80%以内	男・女 約220人
		電気技術コース		
		情報コース		
		電子技術コース		
		電子機械コース		
		機械技術コース		
	情報科学科	情報システムコース	80%以内	男・女約40人
		情報デザインコース		
入試の種類	出願期間	試験日	合格発表	
推薦	1月15日(火)~21日(月)	1月31日(木)	2月1日(金)	
一般	2月1日(金)~4日(月)	2月6日(水)	2月8日(金)	

愛知工業大学附属中学校	募集人員	試験日	試験科目	出願期間	合格発表
奨学生	若干名	1月26日(土)	選択 国語・算数 社会・理科	1月21日(月)~24日(木)	1月29日(火)
一般第1回	約60名	1月27日(日)	選択 国語・算数 社会・理科	1月21日(月)~24日(木)	1月29日(火)
一般第2回					

学生入試と第一回入試が二科(国語・算数)四科(国語・算数・社会・理科)のどちらかを選択できるようになることです。可否は平均点で判定されます。



◇: 改修工事では、三階四階に一般教室を六室、多目的室を二室、音楽室と美

中学の話題二つ

南館の改修工事始まる  
新しく作法室や多目的室  
高校新校舎で学校説明会も

中学校の改修工事が、南館西側で年末まで行われます。高校の新校舎と同様、IT化された教室などに生まれ変わります。また、10月7日には高校の新校舎で学校説明会が開かれ、約100人が訪れました。

◇: 学校説明会には、小学生や保護者ら百二人の参加がありました。概要説明の後、児童は三組に分かれて体験学習。英国人の女性教師による「英語で遊ぼう」(写真⑤)、情報デザイン室での「美しい模様を描こう」、メディアライブラリーでのネットサーフィンなど、中学での授業の雰囲気を楽しんでいました。

術室を各一室つくりまします。高校新校舎の見学会で話題を集めた42インチプラズマディスプレイが一般教室、音楽室、美術室に一台ずつ設置されるほか、多目的室には前後に二台据え付けられることになっています。当然LANも整備されるので、プラズマディスプレイを使った授業だけでなく、PC環境もぐんと向上します。このほか、二階中央には作法室がつくられ、四階の東側はメイトコース用の四教室になる予定です。





# 美しい星空に感激!

## 附属中 2年生 清里で野外教育活動

附属中学の二年生四十二人は十月十日から三日間、「野外教育活動」として山梨県・清里の「キープ自然学校」に宿泊まりし、天の川や流れ星に感激したり、搾乳や牛舎の清掃を体験するなど、美しい自然の中で様々なことを学びました。野外教育活動は、昨年に続き二回目です。



学校に到着、あいにくの雨でしたが、屋内でひもなどをを使ったグループワークゲームをし、力と知恵と感性を出し切り、お互いの協力で課題を解決していくことの大切さを学びました。好天となった翌日は牛舎の清掃、乳搾りなどを体験

したり、約七キロをハイキング。森の木々と対話をしたり、五人以上は通行出来ない橋をこわごわ渡ったりしました。夜は牧草地に

# みやぎ国体で優勝

名電高3年の山口元気選手

得意のスナッチ112.5キロ

宮城県で開かれた第56回国体(新世紀・みやぎ国体)で、3年電気科の山口元気(もとき)選手が69キロ級スナッチで優勝、総合でも3位に入りました。



山口選手の自己ベストはスナッチ110キロ、ジャーク130キロ。国体での目標

は、得意のスナッチで2.5キロ増やすこと。三回目の試技で目標の112.5キロをクリア、見事優勝しました。ジャークは130キロで記録更新はなりませんでしたが、総合でも三位に入っていました。山口選手。小学一年の時、転倒して右目の視力を失ったものの、重量

シートを敷き、星を見たり虫の声を聞くなどの「ナイトハイク」。ハッキリ見える天の川や神秘的な流れ星などに、生徒たちは興奮を抑えきれないようでした。夜は「私の将来」について発表し、最終日は清里開拓者の記念センターなどを見学して回りました。



## 大学に新しい案内看板

大学のバス停沿いに、新しい案内看板が完成しました。大きさはタテ2.5メートル、ヨコ4メートルで、地上から75センチの位置に設置されました。AITの新しいロゴを使った、明るい色の分かりやすい看板です。

挙げに欠かせないバランス感覚は抜群(高橋力監督)で、大学に進んでさらに技を磨くそうです。

## 前田助教教授に博士号

大学の博士号授与式が十月十六日、第二本館棟五階の小会議室で行われ、後藤淳学長から工学部電気工学科の前田昭徳助教教授に「学位記」が手渡されました。前田助教教授の論文題目は「有機非線形光学薄膜の作製に関する基礎的研究」。



## 編集後記

九月十一日、アメリカで不幸な事件が起きました。記憶に生々しい米中枢同時テロ事件です。▼報復としてアフガニスタンへの空爆が始まり、さらに地上戦へと戦火は拡大、不幸は広がる一方です。▼歴史の背景や宗教的な確執など、日本人には理解出来ないことがたくさんあります。でも、繰り返される殺戮は、人間の業とはいえない悲しいことです。▼テロの気配が世界のどこにも感じられなかった八月は、はじめ、還暦祝いにかこつけて夫婦でエジプトのカイロ、ルクソール、アスワンを回ってきました。▼ギザのピラミッドやツタンカーメンの墓など、素晴らしい遺跡や美しい壁画を目の当たりにし、感激を新たにしました。▼その一方で、観光客に群がる子供たちの多さは驚きでした。焼けるような砂の上を裸足で歩き回り、土産品を売りつけチップをねだります。▼「エジプトは遺産を食いつぶしている」とガイドさんは悲しげでしたが、テロや戦争と同様、大遺跡も不幸な子供たちを創るのでしょうか。(柳)